東京園芸ニュース(R1年度-6号)

令和元年７月／群馬県東京園芸情報センター

出荷最盛期に向けて大田市場でPR
小松菜とほうれん草のトップセールスを開催！

JA太田市小松菜・ほうれん草トップセールス
■期日：６月28日(金)
■場所：大田市場　東京青果㈱
■主催：ＪＡ太田市、ＪＡ全農ぐんま
■内容：小松菜・ほうれん草の試食宣伝、藪塚野菜のサンプル展示　等

大田市場で小松菜とほうれん草をPR！

６月28日(金)の早朝から、大田市場内の東京青果㈱でJA太田市による小松菜・ほうれん草を始めとする藪塚野菜のPRが実施されました。当日は、試食として「小松菜のおひたし」と「ほうれん草のサラダ」が用意され、PRに来場した生産者やJA太田市職員が中心となり、市場関係者に向けた試食提供が行われました。夏場のほうれん草は、生育が早くアクや苦味が少ないため生のままサラダで食べることができます。試食した市場関係者からは、「サラダで食べられるのは手軽で食べやすい」や「苦味が少なくて美味しい」といった声が聞かれました。

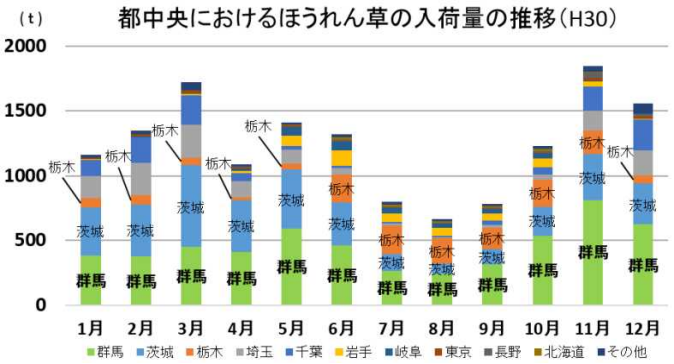
また、会場には小松菜とほうれん草の他にも、モロヘイヤや小玉すいかの展示も行われ、JA太田市産の野菜が幅広くPRされました。

ＰＲに来場したJA太田市担当者からは、「小松菜とほうれん草の生育は順調であり品質も良い。出荷量は平年並みを見込んでいる。今後も安定した出荷を心掛けていきたい」とのコメントがありました。

提供した試食

都中央における小松菜とほうれん草の入荷実績（H30）

小松菜：農林水産省による統計では、平成29年産小松菜において、群馬県は全国の出荷量の6.9%を占め、全国で５位の産地となっています。また、平成30年の都中央における群馬県産の入荷量は３位で、市場占有率は10.4%となりました。しかし、市場占有率は前年(11.4％)と比べやや低下する結果となりました。平成30年における都中央入荷量１位は茨城県で占有率51.8%(H29：48.9%)、２位は埼玉県で23.3%(H29：24.2%)となりました。

ほうれん草：農林水産省の統計では、平成29年産ほうれん草において、群馬県産は全国の出荷量の8.8%を占め、千葉・埼玉に次いで全国で３位の産地となっています。また、平成30年の都中央における群馬県産の入荷量は１位で、市場占有率は36.5%となり、前年(32.6%)と比べ3.9%上昇しました。２位は茨城県で25.8%(H29：27.7%)、３位は栃木県で10.2%(H29：11.4%)となりました。

生産者による試食提供の様子